



(第4期) 2020年4月1日～2021年3月31日

理念

- 1 私たちは、生命(いのち)と人間の尊厳を大切にします。
- 2 私たちは、個人のいまできることを大切にします。
- 3 私たちは、世代をこえた共生社会の継続を目指します。
- 4 私たちは、地域のなかで生かされていることを考えます。
- 5 私たちは、すべての人々の仏性を信じ、価値観の多様性を尊重します。

中期経営計画 平成31年度～令和3年度 (3ヶ年の2年目)

- 地域の安心のために特養 21床追加認可と、永続のための稼働向上。
- ①人材確保と人財育成 採用と離職防止施策の充実。質の向上への自動化。
 - ②財務黒字化 入所稼働98%以上 通所稼働75%以上 病児保育600人/年
 - ③ソーシャル・インクルージョン 地域福祉拠点となるための集客向上

年次目標

- 「ちから あわせる ことりむら」 地域包括ケアシステムへの邁進。
- 多職種協働、地域の方とパートナーシップを強化して、地域に安心を提供する。
- ・稼働目標 (各事業ごとの数値) を達成し、事業永続の基盤をつくる。
 - ・地域の方に知ってもらえるように、広報や外部の方を招く機会を創出する。

各事業ごとの運営目標

実施評価

<p>①特別養護老人ホーム ことりの郷 (ショートステイ含む) Hygge その人らしく暮らし続けられる、居心地の良い場を創る</p>	<p>■利用者満足度向上 ・利用率 ・SSIレポート ・介護職員離職率 ・アンケート点数の向上</p>
<p>②デイサービス ことりの杜 笑顔と健康といきがいの場をつくる コピー「笑っちゃう? 元気になっちゃう? 通っちゃう!」</p>	<p>■利用率向上 ・年間平均 55%以上 ・見学からの契約率</p>
<p>③ことりのうた保育園 未来に羽ばたく「生きる力」と、皆と「共に生きていく力」を育む</p>	<p>■愛着形成向上 ・多事業との合同企画</p>
<p>④病児保育室 あおぞら 利用児童の健康に配慮しつつ、常に適切な措置を行い、利用児童の健全な発達の支援と利用家族の総合的な支援を行う。</p>	<p>■予約障壁の解消 曜日ごとの稼働平準化 保育士確保と定員増</p>

事業活動

・稼働目標 予算額	実施評価
①特別養護老人ホーム ことりの郷（ショートステイ含む） 予算 153,700(千円) 年間 95%稼働（特養100% SS 8/10）	同左
②デイサービス ことりの杜 予算 68,100(千円) 年間 55%稼働 利用者数 27.5人/日（来年度75%）	同左
③病児保育室 あおぞら 予算 16,000(千円) 年間 600人↑（稼働率50%）	同左
④ことりのうた保育園 予算 23,400(千円) 定期利用 5.5/12人（期首予定者数）	同左

法人活動	実施評価
<ul style="list-style-type: none"> ・人事・サービス法規・財務管理体制の構築：ベストのコピーとガラス張りの運営 ・永続への基礎；特養追加への活動、職員の貢献意欲、コスト意識の醸成 ・地域とのパートナーシップ構築：地域福祉拠点としての「ちから あわせる ことりむら」 「ソーシャル・インクルージョン 地域福祉の拠点 ことりむら」 	
<p>企画開催予定</p> <p>秋 ことりフェスティバル</p> <p>通年 ボランティア受け入れ</p> <p>月2回 オレンジカフェ</p> <p>企画中 博仁会共催イベント</p> <p>通年 地域行事への参加（あんしんセンターことり含む）</p> <p>通年 なんでも福祉相談事業（県社協）</p> <p>検討事項 居住支援法人取得</p>	<p>開催実績</p> <p>人数</p> <p>開催実績</p> <p>開催実績</p> <p>参加実績</p> <p>事業開催</p> <p>進捗有無</p>

会議 研修等

役員会等			
理事会	6月初旬	3月中旬	業務執行上の事項および諸問題を審議し、企画立案を行う。
評議員会	6月中旬	3月中旬	管理運営上の重要事項及び事業の方針について審議、決定を行う。
監事会	3月初旬		運営管理、執行状況、財産の状況について監査を行う。
事業所ごとの会議、委員会			
運営推進会議 （ことりの郷）	隔月最終木曜		特養の質向上を目的として、利用者と家族、地域の方、行政を招いて会議を行う。地域密着型サービスの要件。
各種委員会			
事故防止委員会	毎月最終火曜		事故防止を目的に、事故やヒヤリハットの検討を行う（全事業所）
感染食中毒防止委員会	毎月最終火曜		感染防止を目的に、研修の企画、事例の検討を行う（全事業所）
災害対策委員会	隔月最終火曜		年2回の訓練を中心に、災害時対応の検討を行う（全事業所）
身体拘束虐待防止委員	隔月最終火曜		身体拘束虐待防止を目的に、研修の企画を行う（全事業所）
褥瘡予防委員会	毎月最終火曜		褥瘡予防を目的に、研修の企画、事例検討を行う（保育除く全事業所）
村長会議	毎週木曜		事業所間の情報共有、運営の立案を行う（全事業所、あんしんセンター）

研修会		
事故防止研修会	年2回	
感染食中毒防止研修会	年2回	
災害対策研修会	年2回	避難訓練は年2回以上適宜おこなう。夜間避難、急変を重点訓練する。
身体拘束虐待防止研修	年2回	
褥瘡予防研修会	年2回	

人事 HRM施策 (全事業共通)	※事業ごとにPDCAをおこなう。	実施評価
「一人ひとりが、働きがいを感じる ことりむら」		
採用	事業継続、稼働目標達成の最重要事項。待遇設定とプロモーション。昨年度期首で、全事業の定員数確保は完了できた。退職発生時と各事業の稼働が向上し、事故防止等に支障がでるなど、人員加配が必要になれば、財務状況を勘案して採用を実施する。	特養SS 1名増員 デイ 1名増員 保育 パート数名増
評価	利用者に価値あることを目標に掲げ、個人の貢献を見える化して定量的な評価方法を作成する。 ①事業所の目標設定は全員でおこなう。事業ごとに理念に沿った運営目標を定めるプロセスを構成員と共有する。 ②目標管理MBO。③を踏まえて、①に整合する個人目標をたてる ③個人のコンピタンスを見える化できる既存の測定方法を吟味し、その技能向上と目標管理の枠組みを「キャリアパス」として設計する。	キャリアパス改善 特養 定例発表会毎月 MBO実施（常勤者） デイ MBO（役職者） 保育 MBO（常勤者）
育成	やりがいを感じるための自己成長支援。人財の定着をはかる。 ①業務の最低基準の担保、個々人が自信をもって働くための、個人ごとの外部研修計画策定。②利用者の満足を得て、やりがいを実感できるフローを自動化させるためのOJTシステムを整備する。 ・特養で組成した「ことり式Hyggeプラン」の多事業への横展開。 (各介護員、保育士が担当利用者のインサイトをおこない、個々人のための立案と実践をおこない、快の感情と意欲をひきだす手法。)	外部研修年間計画 法人内研修会 各委員会で毎月開催 介護プロフェッショナル 段位制度導入 ことり式Hyggeプラン 好事例発表機会創出
離職対策	やる気のある人財が残りたくなる環境をつくる。 離職率が高い業界で、退職理由の上位は「給与」「人間関係」。 特別手当政策で給与面が改善したので、今後はやる気のあるチームづくり。 向上心のある人財が中軸をしめる、良いチームづくりを目指す。	人員加配 リーダー養成 企画聴取機会創出 個人の企画見える化

